

# 山正ニュース

株式会社 山 正

本 社 ☎058-271-4468 岐阜県岐阜市市橋4-5-15  
岐阜営業所 ☎058-271-4466 岐阜県岐阜市市橋4-5-15  
可児営業所 ☎0574-62-5228 岐阜県可児市川合345-1  
富山営業所 ☎0766-55-3882 富山県射水市大江207-1  
飛騨営業所 ☎0577-72-4866 岐阜県高山市国府町村山857-2

2019年1月号（通巻116号）

<https://www.yamasyou.com/>

## 2019年はじまりにあたり

新年明けましておめでとうございます。平成最後の年明けを迎え、皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

多発する豪雨災害、真実異常な猛暑、連続で襲来する大型台風、頻発する地震と、日本の自然はかつてのような優しさと穏やかさがなくなりつつあると感じております。地元の岐阜県、富山県においても、ハウスの倒壊、破損が多発し、稲作も公表よりは収量、品質とも悪く、畑作物や果樹においても多大な被害が発生しました。特にハウス被害の復旧では、部材の確保、施工人財の確保に苦勞し、ご迷惑をかけている状況ですが、全力をあげて対応させていただきます。今年の天候も気になりますが、猛暑、台風の襲来は不可抗力の当たり前のものとして、それに適応し、協調できる栽培方法や資材のご提案に力を入れていきたいと思っております。

さて、業界においては、「農業競争力強化支援法」が施行され、生産資材価格の低減化、見える化の具体的政策がとられ、全農の自己改革、広域物流構想が動き出し、更なる農協合併等も論じられております。「農薬取締法」の改正においては、農薬の再評価制度の導入や、使用時の安全性の更なる確保、ジェネリック開発等が盛り込まれ、現場では、リスクとベネフィットの兼ね合いにおいて、対応に混乱をきたすものと思われれます。農薬メーカーにおいては、バイエルのモンサント買収、ダウデュポンの合併によるコルテバの誕生、それらに伴う剤の移動で BASF や FMC での取扱品目の増加、日本における流通にも大きな影響が出てくるものと思われれます。また、UPL によるアリストアの買収や日本曹達のゾエティス農薬部門の買収等、ジェネリックメーカーの動きや日本メーカーの動きにも注目です。

時代の流れは、5つのキーワードによって進化するとされており、最初は「Want」の必需品の確保から始まり、「More」もっとたくさん欲しいという量的な欲求、

次には「Better」のより良いもの、質の高い商品への欲求、そして「Different」の人とは異なるもの、自分の個性にあったものへの欲求、そして成熟社会になるにつれて「Less」の必要以上のものは省く欲求、モノでなくデジタルでの置き換



え等の簡素化や心の癒しが求められる時代となります。日本社会も高齢化、少子化と成熟社会になるにつれて、モノから心の時代に変化していくものと思われれます。我々の携わる農業は、農産物という必需品の生産を担っている業界ですが、時代の流れや消費者のニーズにあわせ、「安全な農産物の確保」は当たり前のこととして、「量の確保する農業」なのか、「高品質の農産物の生産」なのか、人とは違う「ブランド農産物」の生産なのか、「いかに効率よく生産するシステム」の構築なのか、「デジタル農業への取り組み」なのか、お客様の目指す農業へのご支援をすることが大切と思っております。皆様の思いをお聞かせいただき、心を通わせていただければ幸いです。

今年のキーワードは「見える化」です。お客様に対しても、仕入先様に対しても、何を貢献しているのか、山正の付加価値は何か、眼に見える形で成果をご提示、ご提供する努力を、社員一同で一所懸命に行わせていただきます。

本年は、ドローン+αの機能としてのリモートセンシングのご提案と、農福連携分野や稲作+αの栽培としての簡易式野菜栽培セット(トマトローゼシステム)のご提案をしていきます。

本年もよろしく申し上げます。

2019年1月

株式会社 山正

代表取締役 堅田充宏

## 第4回「飛騨農の会」、平成30年度富山「営農友の会」開催

さる平成30年11月15日に、今回で第4回目となる「飛騨農の会」をひだホテルプラザにて開催いたしました。当日は総勢250名を超えるお客様にご来場いただき、大変活気あふれる会になりました。特に今年は台風での被害が多く、渡辺パイプによる「風雪に強いハウス」の講演や、仕入先メーカー様からは台風対策関連商品のご紹介をさせていただきました。また、夏の猛暑対策としての商品もいくつかご紹介させていただき、関心を持っていただきました。



また平成30年11月19日には、富山市の ANA クラウンプラザホテルにおいて営農友の会を開催しました。例年は年明け1月末から2月の開催ですが、本年は収穫直後11月の開催としましたが、主要なお客様をはじめ、協賛メーカー・スタッフ総勢約100名の参加を得られました。例年通り、弊社の中井社員から、出展メーカー様のご紹介をさせていただき、名畑顧問からは本年度の展示圃試験の結果報告を行いました。今年は新たな特別講演として、簡易式野菜栽培システム「トマトローゼ」のご紹介を、システム開発した大分の㈱ヘリックスの久保先生をお招きして行いました。久保先生が栽培したトマトの試食会も好評でした。穀物以外での農産物栽培の取り組みに興味を持たれているお客様からは多くの質疑が寄せられました。山正では、このシステムを利用して、トマトだけでなく、葉物野菜(ほうれん草等)の栽培が出来る改良版も発売しておりますので、水耕栽培システムにご興味のある方はお問い合わせください。



目次	2019年はじめにあたり	1 ページ
	第4回「飛騨農の会」、平成30年度富山「営農友の会」開催（堅田充宏）	2 ページ